

# 魚沼市地域医療計画

令和8年3月

---



魚沼市

---



## 目次

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 1. 魚沼市地域医療計画の基本的事項 -----           | P 1 |
| 1.1. 魚沼市地域医療計画の趣旨 -----            | P 1 |
| 1.2. 魚沼市地域医療計画の位置付け -----          | P 1 |
| 2. 魚沼市の現状（地域特性・人口推移）と将来推計人口 -----  | P 3 |
| 2.1. 魚沼市の地域特性 -----                | P 3 |
| 2.2. 魚沼市の人口推移 -----                | P 7 |
| 2.3. 魚沼市の将来推計人口 -----              | P 9 |
| 3. 魚沼市の国民健康保険・後期高齢者の受療動向 -----     | P13 |
| 3.1. 国民健康保険の受療動向 -----             | P13 |
| 3.2. 後期高齢者の受療動向 -----              | P14 |
| 4. 魚沼市の将来患者数予測 -----               | P15 |
| 5. 魚沼市における医療提供体制の現況と課題 -----       | P21 |
| 5.1. 魚沼市における医療提供体制の現況 -----        | P21 |
| 5.2. 魚沼市における医療提供体制の課題 -----        | P27 |
| 6. 魚沼市における医療提供体制の方向性 -----         | P31 |
| 6.1. 魚沼市における医療提供体制の方向性 -----       | P31 |
| 6.2. 魚沼市立小出病院及び魚沼市国保直営診療所の方向性 ---- | P36 |



## 1. 魚沼市地域医療計画の基本的事項

### 1.1. 魚沼市地域医療計画の趣旨

地域社会を支える医療・介護・福祉の持続可能性を確保するための「地域医療構想<sup>1</sup>」では、社会の変化に大きな地域差があることが指摘されています。

魚沼市では今後、医療・介護の複合的なニーズを抱える85歳以上の人口増加や、現役世代の人口減少に伴う医療需要の変化への対応が求められます。

そのため、令和22年（2040年）頃を見据え、病院だけでなく、「かかりつけ医」機能、在宅医療、医療介護の連携等も含めて、中長期的な課題を整理・検討する必要があります。

そこで、「地域医療構想」の基本理念を踏まえつつ、魚沼市において都市部よりも早く進行する高齢化に対応できる体制の構築を目指し、魚沼市地域医療計画を策定します。本計画では、今後の医療施策の目標と方向性を示します。

### 1.2. 魚沼市地域医療計画の位置付け

魚沼市の最上位計画である「第三次魚沼市総合計画」に基づいた個別計画として位置付けるとともに、新潟県地域保健医療計画と整合性を図っています。

また、日本では高齢化の進行や医療需要の変化に対応するため、令和22年（2040年）を見据えた医療提供体制の見直しが進められています。

特に、図表1-1（2頁）のとおり次の3項目が重要な国の医療政策として挙げられています。

---

<sup>1</sup> 地域医療構想とは、中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、医療機関の機能分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保を目的とするものです。

図表 1-1 国の医療政策

| No. | 項 目                    | 内 容                                                            |
|-----|------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1   | 地 域 医 療 構 想 の<br>見 直 し | 病床のみならず、入院・外来・在宅医療、介護との連携を含めた将来の医療提供体制全体の構想とする。                |
|     |                        | 地域医療構想調整会議の構成員として市町村を明確化し、在宅医療や介護との連携等を議題とする場合には参画を求める。        |
|     |                        | 医療機関機能(高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能、急性期拠点機能等)の報告制度を設ける。             |
| 2   | 医師偏在是正に向けた総合的な対策       | 都道府県知事は、医療計画において「重点的に医師を確保すべき区域」を定めることができる。                    |
|     |                        | 外来医師過多区域における無床診療所への対応の強化(新規開設の事前届出制、要請・勧告の公表、保険医療機関の指定期間の短縮等)  |
|     |                        | 保険医療機関の管理者について、保険医として一定年数の従事経験を有する者であること等を要件とし、責務を課す。          |
| 3   | 医 療 DX の 推 進           | 電子診療録等情報(電子カルテ情報)の医療機関間での共有や、感染症発生届の提出を、電子カルテ情報共有サービス経由で可能とする。 |
|     |                        | 医療情報の二次利用推進のため、厚生労働大臣が保有する医療介護関係データベースについて、匿名化情報の利用提供を可能とする。   |
|     |                        | 社会保険診療報酬支払基金を医療DX運営の母体として位置付け、名称、法人目的、組織体制等を見直す。               |

出典) 厚生労働省 令和7年(2025年)12月8日第122回社会保障審議会医療部会  
医療法等の一部を改正する法律の成立について(報告)

国は、①地域医療構想の見直し、②医師偏在是正に向けた総合的な対策、③医療DX<sup>2</sup>の推進を通して、将来の医療需要の変化に対応し、持続可能な医療提供体制の確立を目指しています。

以上の国の医療政策に準拠して、魚沼市地域医療計画を策定します。

<sup>2</sup> 医療 DX (医療のデジタルトランスフォーメーション) とは、単なる書類の電子化にとどまらず、AI やクラウドなどのデジタル技術を活用して、医療の質や患者体験、病院経営を根本的に変える取組

## 2. 魚沼市の現状（地域特性・人口推移）と将来推計人口

### 2.1. 魚沼市の地域特性

#### （１）魚沼市の地勢

魚沼市は、新潟県の南東部に位置し、福島県と群馬県の県境に接しており、平成16年（2004年）11月1日に、北魚沼郡堀之内町、小出町、湯之谷村、広神村、守門村、入広瀬村の合併により、総面積946.76平方キロメートル、新潟県全体の7.5%を占める広大な市域を有する市となりました。

西を魚沼丘陵、東を三国山脈に挟まれた魚沼盆地の北方に位置する魚沼市は、夏は高温多湿、冬は3メートルもの積雪がある豪雪地帯です。市の中心部を流れるのは、鮎・ウグイ（ハヤ）・カジカなど数多くの魚が生息する魚野川、その支流である<sup>あぶるまがわ</sup>破間川、佐梨川、羽根川などの清流が貫流しています。

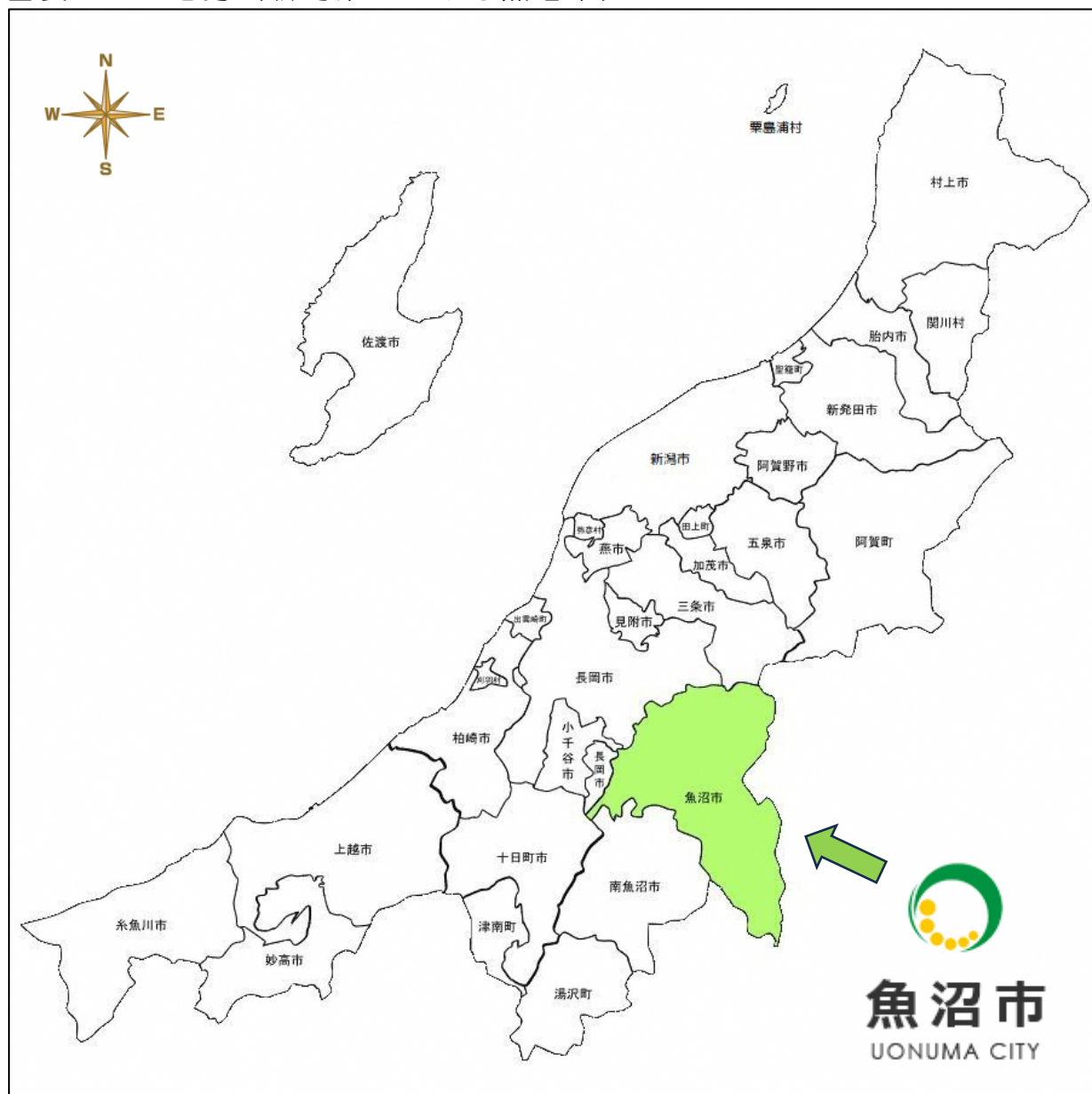
堀之内地区と小出地区は、魚沼市の中心となる地域で、小千谷市や長岡市川口地域、十日町市、南魚沼市と接しています。堀之内地区と小出地区の中心部には市街地が形成され、その周辺に農地が広がっています。

湯之谷地区は、大部分を山林が占め、越後三山只見国定公園や尾瀬国立公園の一部にも指定されているほか、大湯温泉、銀山平、奥只見湖など観光資源が分布しています。

広神地区、守門地区、入広瀬地区は、国指定重要文化財の目黒邸や佐藤家、奥只見レクリエーション都市公園須原地域及び浅草岳地域が立地するなど、観光資源が分布しています。

また、広神地区、守門地区、入広瀬地区は、市内でも特に積雪の多い地域です。なかでも、守門地区と入広瀬地区からなる北部地域（以下「北部地域」という。）は市内でも特に雪が多く、少子化・過疎化が進んでいます。

図表2-1 地勢（新潟県における魚沼市）



## （２）地区の構成

### i 堀之内地区（旧堀之内町）

堀之内町は、はるかに越後三山を望み、清流魚野川に育まれてきた自然あふれる地域です。古くは、越後の国、藪<sup>やぶ</sup>神<sup>かみ</sup>の荘<sup>しょう</sup>宇賀<sup>う</sup>地<sup>か</sup>郷<sup>ち</sup>と呼ばれ、江戸時代には十日町、小千谷と並ぶ三大縮みの里として賑わいをみせていました。

明治22年（1889年）町村制施行により、堀之内村、城下村、宇賀地村、田川入村が誕生しました。その後いくつかの合併を経て、大正15年（1926年）堀之内町として町制を施行しました。

### ii 小出地区（旧小出町）

小出町は、室町時代に四日町と十日町の市場が開かれ、河川交通による舟の往来も多く、渡し場が栄えたと伝えられています。戦国時代の末期には、小出島の開発が行われ、関東街道の宿場として、交通の要所となっていました。

町発展の契機となったのは、寛永18年（1641年）の上田銀山の発見であり、銀山の活況に伴って現在の市街地が形成されました。

明治22年（1889年）、町村制施行により小出町村、青島村、佐梨村の三か村組合が組織され、明治29年（1896年）に三か村組合を解散し、小出町村と青島村が合併、小出町として町制を施行しました。

### iii 湯之谷地区（旧湯之谷村）

湯之谷村の歴史は縄文時代に遡ることができます。芋川集落をはじめ、村内各所から発掘される土器、石器は広範囲にわたって古代人の集落が存在したことを物語っています。

徳川中期の寛永18年（1641年）に赤川表（現在の奥只見湖底）で銀鉱石が発見されて以来、安政6年（1859年）までのおよそ200年間、銀山として栄えました。

明治22年（1889年）の町村制施行にあたり、岩鼻以東が湯之谷村、以西が八箇村となり、この二つの村が明治34年（1901年）に合併して湯之谷村となりました。

#### iv 広神地区（旧広神村）

広神村は、戦国時代には上杉氏の支配下にあり、戦国諸将が平地山・琴平・小平尾・根小屋城等において戦乱を繰り広げたと言われている。

その後、高田領、会津領さらに糸魚川領に属し、以後明治の地方制度改革に至るまで継続しました。明治4年（1871年）に廃藩置県があり、自治制度が定められ、柏崎県の設置により小千谷民政局に属しました。

また、明治22年（1889年）の町村制発布から12年後の明治34年（1901年）、下条・中条・小平尾村と合わせて広瀬村となり、藪神・羽川・島町村の一部（中島・中島新田）とを合わせて藪神村となりました。

昭和30年（1955年）町村合併促進法に基づき広瀬村と藪神村とが合併し、広神村が誕生しました。

#### v 守門地区（旧守門村）

守門村の歴史は古く、村内から発掘される土器・石器等の鑑定によると紀元前4千年以前の縄文時代の古代住民が住んでいたとされています。

以来、幾多の変遷を経て、明治34年（1901年）広瀬村と須原村が合併し須原村と称しました。

昭和31年（1956年）須原村と上条村の2か村が合併して守門村が誕生し、今日に至っています。守門村の村名は、古くから中越の名峰霊山として親しまれてきた「守門岳」にちなんだものです。

#### vi 入広瀬地区（旧入広瀬村）

入広瀬村の生い立ちは、大白川の黒姫洞窟から発掘された石器類により、およそ9千年前と推定されています。文治5年（1189年）、応永7年（1400年）、天正17年（1859年）、慶長3年（1598年）等の史料から当時の文武、生活等が散見されています。

明治22年（1889年）町村制施行により、六か村が合併して入広瀬村が誕生し、明治26年（1893年）に高根村の一部を入広瀬村に編入しました。

## 2.2. 魚沼市の人口推移

市全体と北部地域の平成17年（2005年）から令和7年（2025年）における人口構造の推移は、図表2-2/その1～その3（7～8頁）のとおりとなっています。

人口総数及び年齢3区分人口の推移を見ると（図表2-2/その1参照）、人口総数は、市全体では5年毎に約3千人（人口減少率7.7%）<sup>3</sup>減少していますが、北部地域では5年毎に約700人（人口減少率14.5%）減少しており、人口減少の傾向は市全体よりも早いペースとなっております。

0～14歳の年少人口と15～64歳の生産年齢人口を見ると、市全体と北部地域ともに減少しています。

一方、65歳以上の高齢人口は、市全体では増加していますが、北部地域では増加から減少に転じています。

また、75歳以上の後期高齢者人口を見ると、市全体では増加していますが、北部地域では平成22年（2010年）の1,311人をピークに、それまで増加していた人口が減少に転じています。

図表2-2/その1 魚沼市と北部地域の年齢3区分人口の推移 （単位：人）

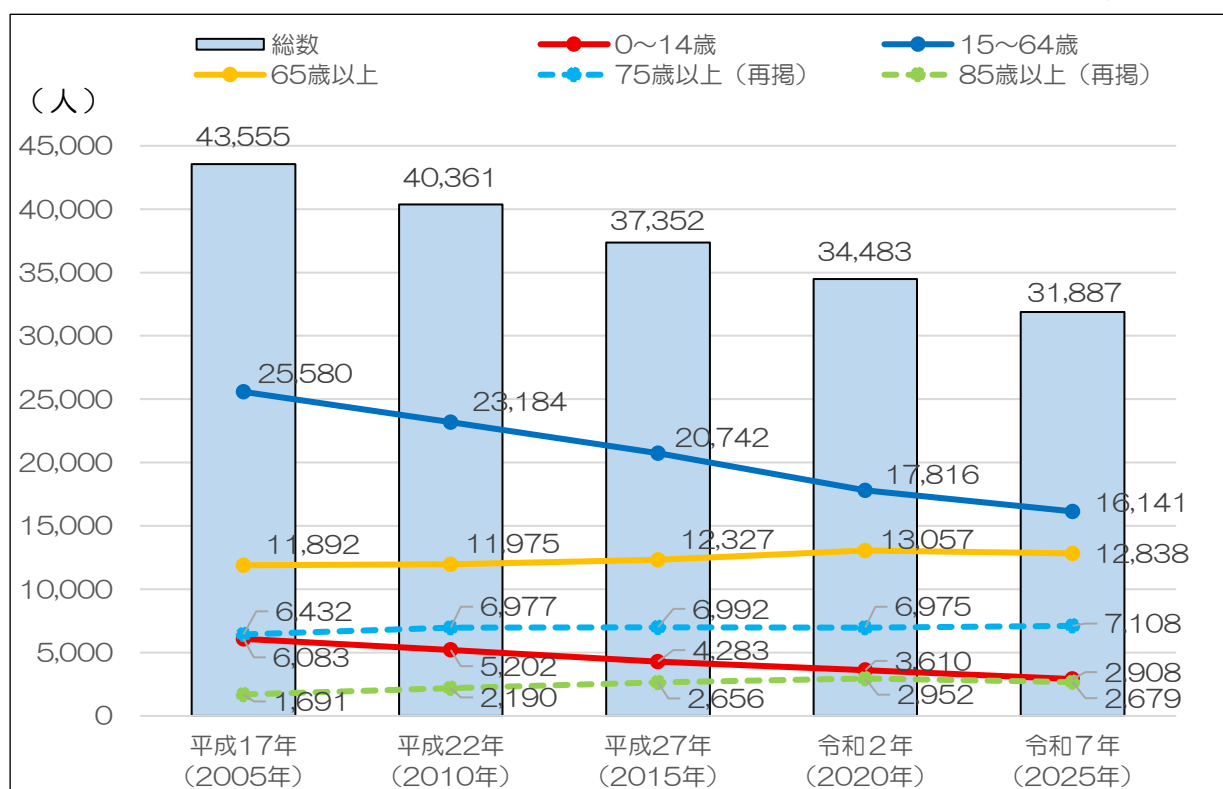
| 区 分              |           | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 令和2年<br>(2020年) | 令和7年<br>(2025年) |
|------------------|-----------|------------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 魚<br>沼<br>市      | 総 数       | 43,555           | 40,361           | 37,352           | 34,483          | 31,887          |
|                  | 0 ～ 14 歳  | 6,083            | 5,202            | 4,283            | 3,610           | 2,908           |
|                  | 15 ～ 64 歳 | 25,580           | 23,184           | 20,742           | 17,816          | 16,141          |
|                  | 65 歳 以 上  | 11,892           | 11,975           | 12,327           | 13,057          | 12,838          |
|                  | 75歳以上(再掲) | 6,432            | 6,977            | 6,992            | 6,975           | 7,108           |
|                  | 85歳以上(再掲) | 1,691            | 2,190            | 2,656            | 2,952           | 2,679           |
|                  |           |                  |                  |                  |                 |                 |
| 北<br>部<br>地<br>域 | 総 数       | 6,352            | 5,629            | 4,872            | 4,164           | 3,635           |
|                  | 0 ～ 14 歳  | 683              | 482              | 365              | 254             | 162             |
|                  | 15 ～ 64 歳 | 3,396            | 2,998            | 2,453            | 1,904           | 1,472           |
|                  | 65 歳 以 上  | 2,273            | 2,149            | 2,054            | 2,006           | 2,001           |
|                  | 75歳以上(再掲) | 1,212            | 1,311            | 1,242            | 1,133           | 1,162           |
|                  | 85歳以上(再掲) | 290              | 376              | 438              | 490             | 504             |
|                  |           |                  |                  |                  |                 |                 |

出典）国勢調査 魚沼市5歳階級別人口  
魚沼市 令和7年（2025年）10月31日付住民基本台帳人口調

<sup>3</sup>平成27年（2015年）から令和2年（2020年）までの人口減数を平成27年の人口総数で除して算出

図表2-2/その2 魚沼市の年齢3区分人口の推移

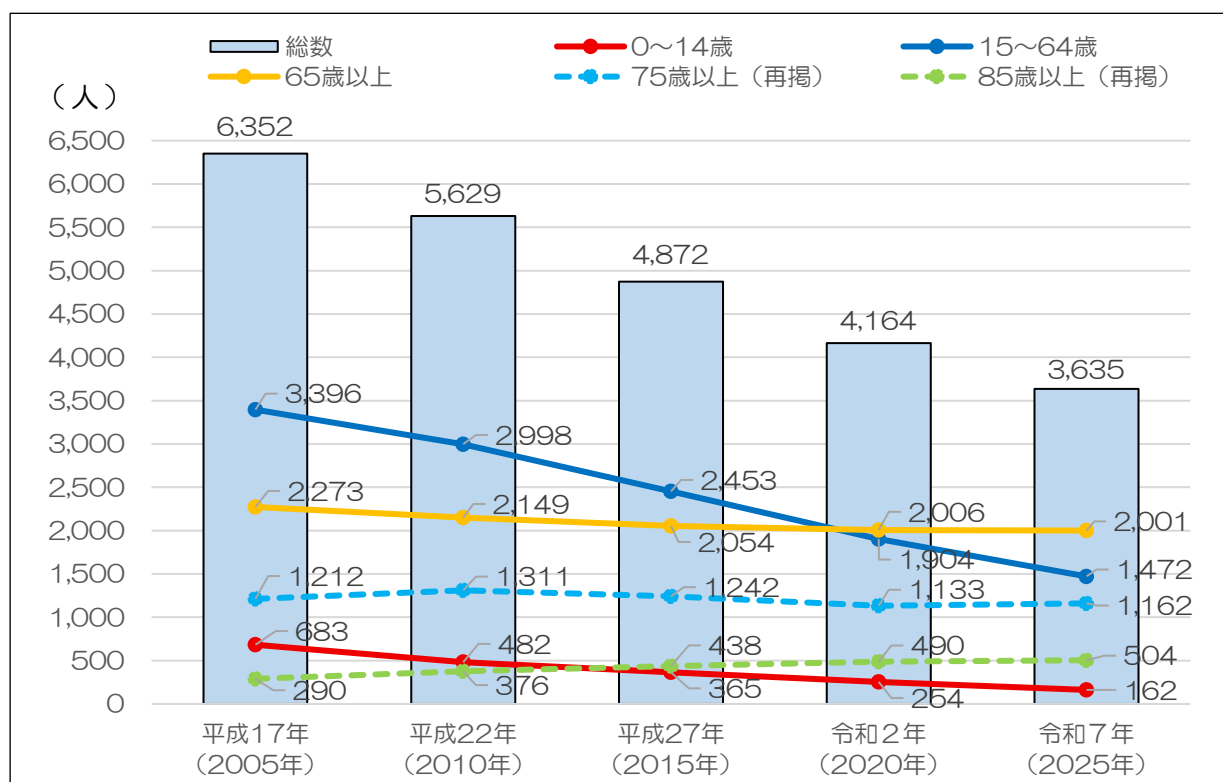
(単位：人)



出典) 国勢調査 魚沼市5歳階級別人口  
魚沼市 令和7年(2025年)10月31日付住民基本台帳人口調

図表2-2/その3 北部地域の年齢3区分人口の推移

(単位：人)



出典) 国勢調査 魚沼市5歳階級別人口  
魚沼市 令和7年(2025年)10月31日付住民基本台帳人口調

## 2.3. 魚沼市の将来推計人口

---

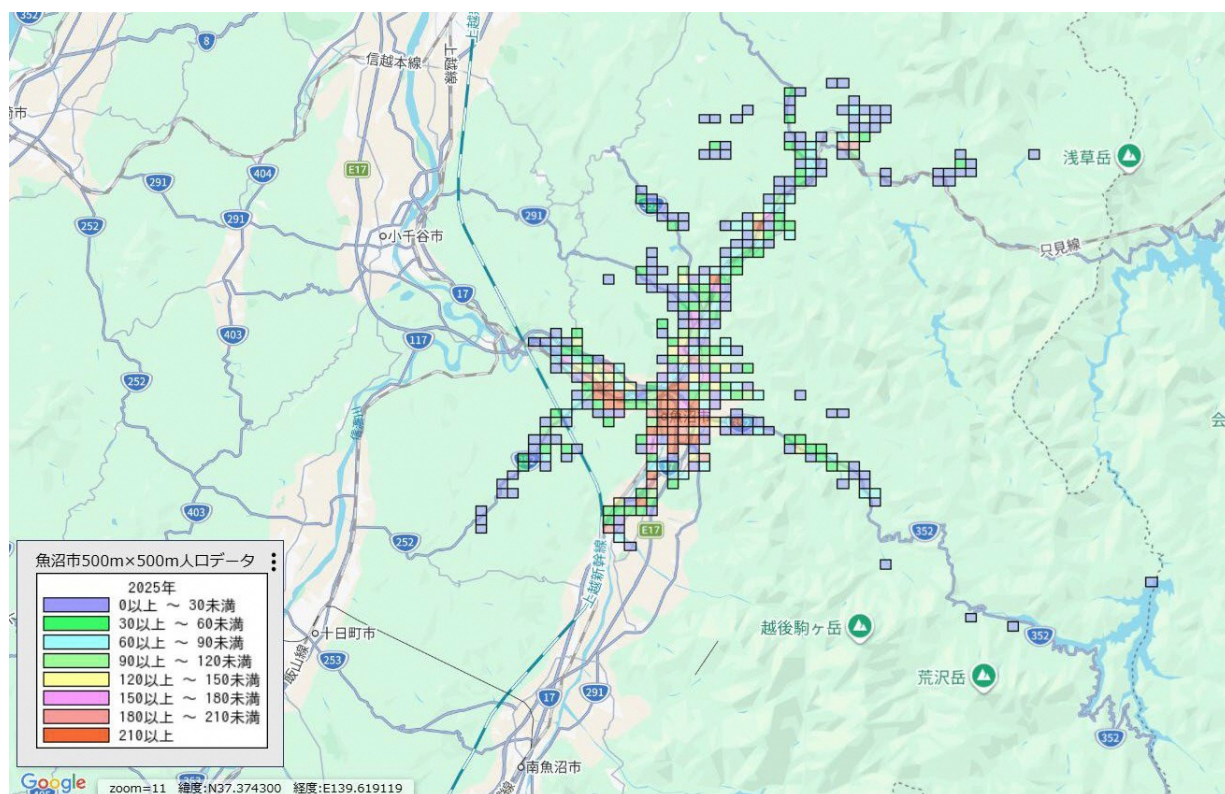
国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の将来推計人口『日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）』に基づき、令和7年（2025年）から令和27年（2045年）における将来人口を推計したものが図表2-3/その3 魚沼市と北部地域の年齢3区分将来推計人口（11頁）になります。

市全体と北部地域の令和7年（2025年）から令和27年（2045年）における将来推計人口の推移は、図表2-3/その4～その5（12頁）のとおりとなっています。

また、総務省統計局のjSTAT MAPを用いて、魚沼市の令和7年（2025年）住民基本台帳人口と魚沼市の令和22年（2040年）将来推計人口を地図上でそれぞれ表示したものが、図表2-3/その1（10頁）及び図表2-3/その2（10頁）になります。

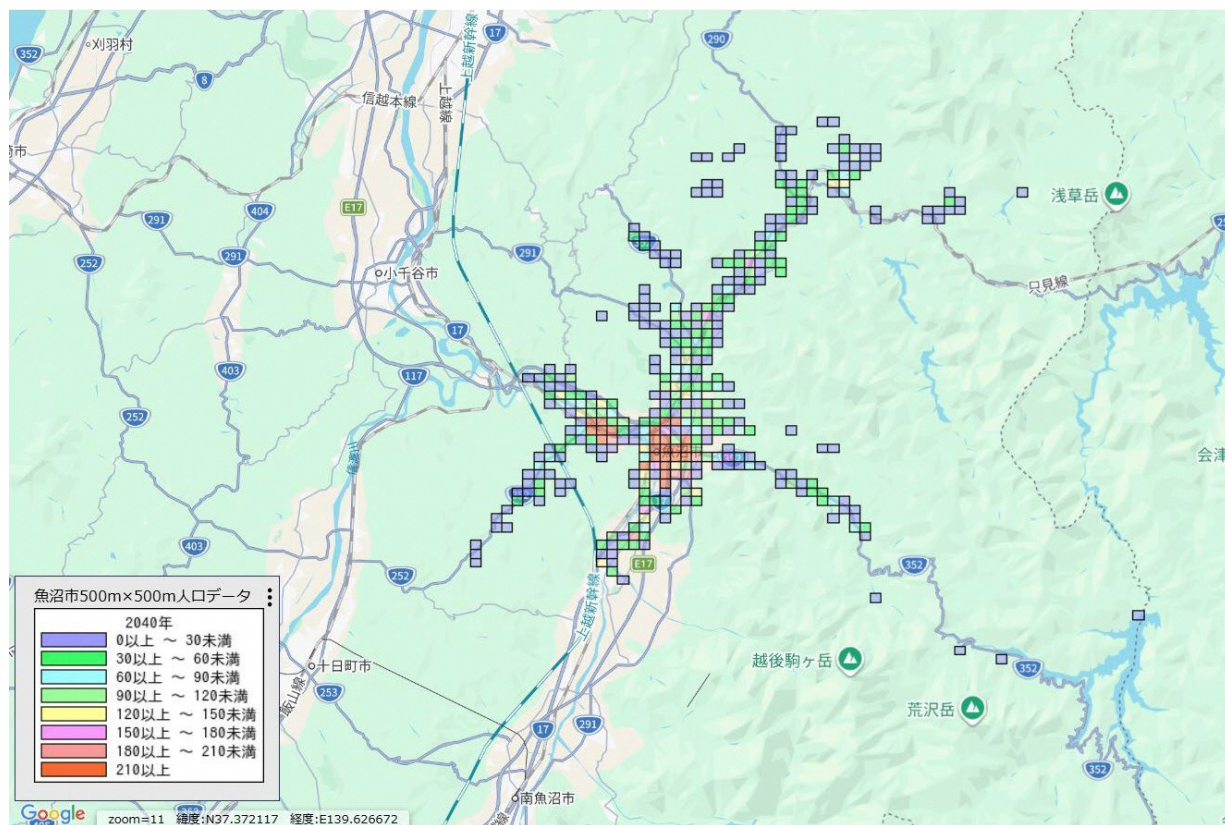
図表2-3/その1（10頁）及び図表2-3/その2（10頁）のとおり、令和7年（2025年）には小中学校が所在する地区に人口密集エリア（500m×500m人口データの赤メッシュ）が見られましたが、令和22年（2040年）には堀之内地区及び小出地区の中心部のみに限られていることが分かります。

図表2-3/その1 魚沼市500m×500m人口データ（2025年）



出典）魚沼市 令和7年（2025年）10月31日付住民基本台帳人口調

図表2-3/その2 魚沼市500m×500m人口データ（2040年将来推計人口）



出典）社人研 日本の地域別将来推計人口 令和5年（2023年）推計

注）各地区人口は魚沼市人口に対する男女別年齢階級別人口の比率から算出

人口総数及び年齢3区分人口の推移を見ると（図表2-3/その3（11頁）～その5（12頁）参照）、人口総数は、市全体では5年毎に約2千500人（人口減少率9.9%）<sup>4</sup>減少していく推計となっていますが、北部地域では5年毎に300人から400人（人口減少率13.9%）程度減少していく推計となっており、人口減少の傾向は市全体よりも早いペースとなっています。

0～14歳の年少人口、15～64歳の生産年齢人口と65歳以上の高齢人口を見ると、市全体と北部地域ともに減少していく推計となっています。

また、75歳以上の後期高齢者人口を見ると、市全体では令和17年（2035年）の7,670人をピークに、それまで増加していた人口が減少に転じていますが、北部地域では減少していく推計となっています。

図表2-3/その3 魚沼市と北部地域の年齢3区分将来推計人口（単位：人）

| 区 分              |           | 令和7年<br>(2025年) | 令和12年<br>(2030年) | 令和17年<br>(2035年) | 令和22年<br>(2040年) | 令和27年<br>(2045年) |
|------------------|-----------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 魚<br>沼<br>市      | 総 数       | 31,887          | 28,510           | 25,869           | 23,306           | 20,833           |
|                  | 0 ～ 14 歳  | 2,908           | 2,490            | 2,027            | 1,801            | 1,603            |
|                  | 15 ～ 64 歳 | 16,141          | 13,850           | 12,284           | 10,573           | 8,967            |
|                  | 65 歳 以 上  | 12,838          | 12,170           | 11,558           | 10,932           | 10,263           |
|                  | 75歳以上(再掲) | 7,108           | 7,625            | 7,670            | 7,182            | 6,630            |
|                  | 85歳以上(再掲) | 2,679           | 2,609            | 2,912            | 3,369            | 3,324            |
|                  | 総 数       | 3,635           | 3,203            | 2,783            | 2,397            | 2,039            |
|                  | 0 ～ 14 歳  | 162             | 158              | 128              | 114              | 101              |
|                  | 15 ～ 64 歳 | 1,472           | 1,258            | 1,040            | 848              | 690              |
|                  | 65 歳 以 上  | 2,001           | 1,787            | 1,614            | 1,435            | 1,247            |
| 北<br>部<br>地<br>域 | 75歳以上(再掲) | 1,162           | 1,139            | 1,140            | 1,017            | 892              |
|                  | 85歳以上(再掲) | 504             | 423              | 436              | 479              | 490              |

出典）社人研 日本の地域別将来推計人口 令和5年（2023年）推計

魚沼市 令和7年（2025年）10月31日付住民基本台帳人口調

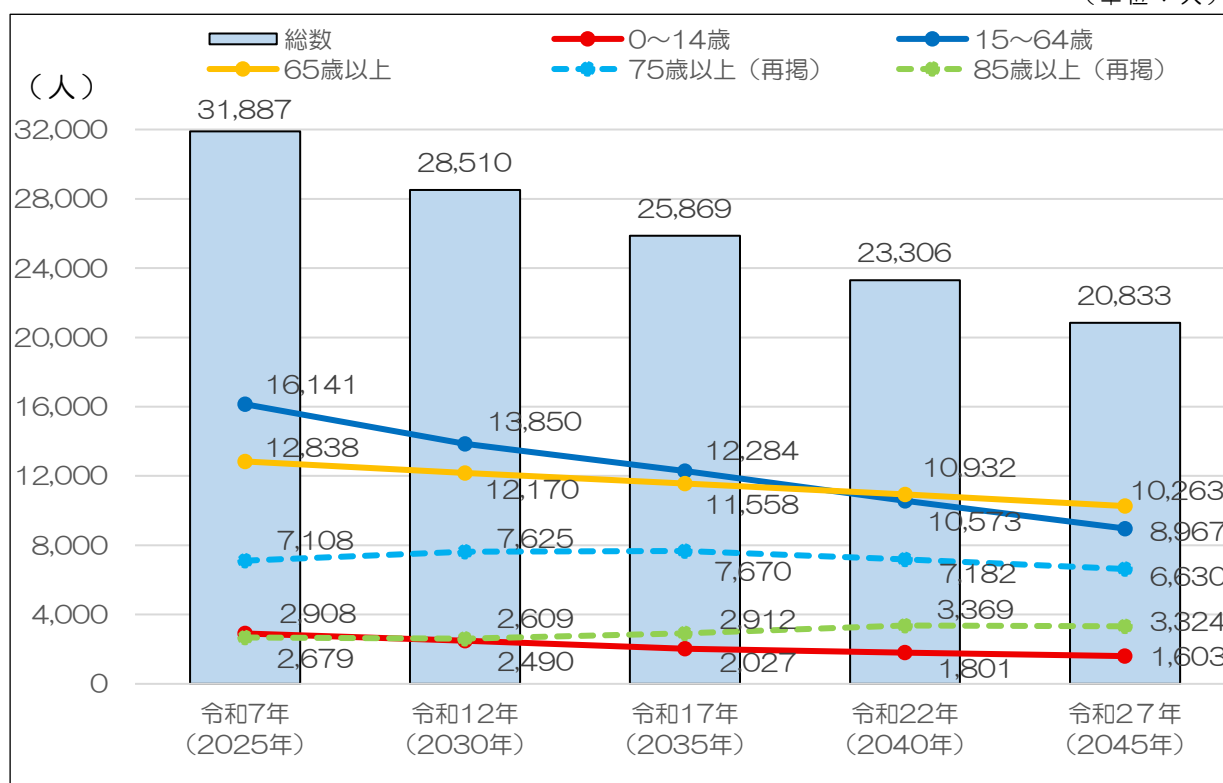
注）各地区人口は魚沼市人口に対する男女別年齢階級別人口の比率から算出

2025年については、国勢調査結果が公表されていないため、2025年10月31日時点の住民基本台帳人口調から算出

<sup>4</sup> 令和17年（2035年）から令和22年（2040年）までの推計人口減数を令和17年の推計人口総数で除して算出

図表2-3 / その4 魚沼市の年齢3区分将来推計人口の推移

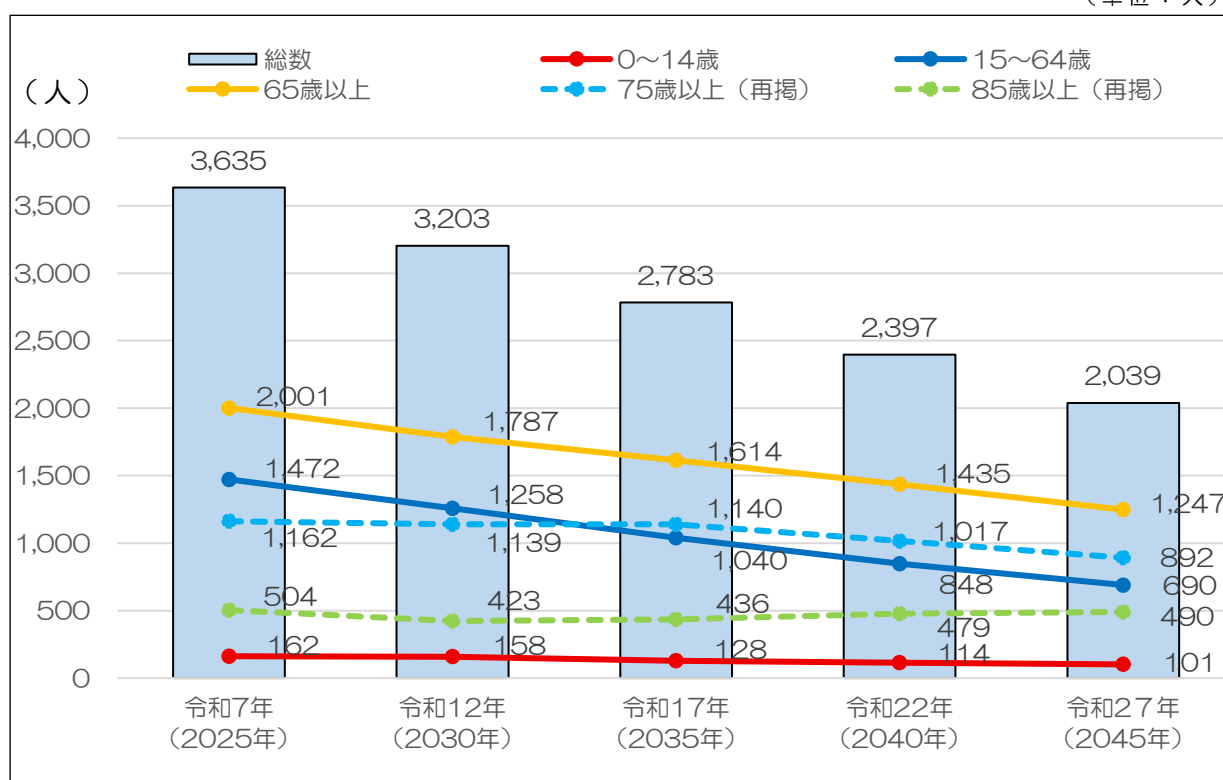
(単位：人)



出典) 社人研 日本の地域別将来推計人口 令和5年(2023年)推計  
魚沼市 令和7年(2025年)10月31日付住民基本台帳人口調

図表2-3 / その5 北部地域の年齢3区分将来推計人口の推移

(単位：人)



出典) 社人研 日本の地域別将来推計人口 令和5年(2023年)推計  
魚沼市 令和7年(2025年)10月31日付住民基本台帳人口調

### 3. 魚沼市の国民健康保険・後期高齢者の受療動向

#### 3.1. 国民健康保険の受療動向

魚沼市内に居住している患者がどこの医療施設を利用しているかについて、国民健康保険被保険者（以下「国保」という。）・後期高齢者別にまとめたものが図表3-1と図表3-2です。患者数は令和6年（2024年）4月から令和7年（2025年）3月までの患者数を使用しています。

国保の構成比を見ると、魚沼市内の医療施設を利用している患者は、入院が24.8%、外来が72.4%となっています。そのうち国民健康保険魚沼市立小出病院（以下「小出病院」という。）を利用している患者は、入院が19.0%、外来が15.7%です。

また、魚沼市国民健康保険堀之内医療センター（以下「堀之内医療センター」という。）の外来を利用している患者は1.2%、魚沼市国民健康保険守門診療所（以下「守門診療所」という。）の外来を利用している患者は1.1%、魚沼市国民健康保険入広瀬診療所（以下「入広瀬診療所」という。）の外来を利用している患者は0.3%です。

図表3-1 魚沼市内居住患者（国保）医療施設利用状況 （単位：人、％）

| 区 分                   |                  |             | 国 保            |                |                |                |
|-----------------------|------------------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
|                       |                  |             | 入 院            |                | 外 来            |                |
|                       |                  |             | 患 者 数<br>（延日数） | 構 成 比<br>（ % ） | 患 者 数<br>（延日数） | 構 成 比<br>（ % ） |
| 魚<br>沼<br>医<br>療<br>圏 | 魚<br>沼<br>市      | 小 出 病 院     | 4,318          | 19.0%          | 9,026          | 15.7%          |
|                       |                  | 堀之内医療センター   | —              | —              | 695            | 1.2%           |
|                       |                  | 守 門 診 療 所   | —              | —              | 644            | 1.1%           |
|                       |                  | 入 広 瀬 診 療 所 | —              | —              | 162            | 0.3%           |
|                       |                  | ほ ん だ 病 院   | 1,329          | 5.8%           | 773            | 1.3%           |
|                       |                  | そ の 他 診 療 所 | —              | —              | 30,439         | 52.8%          |
|                       |                  | 魚 沼 市 小 計   | 5,647          | 24.8%          | 41,739         | 72.4%          |
|                       | 魚<br>沼<br>市<br>外 | 病 院         | 10,777         | 47.3%          | 7,553          | 13.1%          |
|                       |                  | 診 療 所       | 1              | 0.004%         | 1,165          | 2.0%           |
|                       | 医 療 圏 小 計        |             | 16,425         | 72.1%          | 50,457         | 87.6%          |
| 医 療 圏 外 （ 県 内 ）       |                  |             | 5,840          | 25.6%          | 6,458          | 11.2%          |
| 新 潟 県 外 等             |                  |             | 521            | 2.3%           | 699            | 1.2%           |
| 総 数                   |                  |             | 22,786         | 100%           | 57,614         | 100%           |

出典）魚沼市資料

### 3.2. 後期高齢者の受療動向

後期高齢者の構成比を見ると、魚沼市内の医療施設を利用している患者は、入院が65.8%、外来が84.8%となっています。そのうち小出病院を利用している患者は、入院が38.8%、外来が22.6%です。

また、堀之内医療センターの外来を利用している患者は3.6%、守門診療所の外来を利用している患者は5.5%、入広瀬診療所の外来を利用している患者は1.6%です。

図表3-2 魚沼市内居住患者（後期高齢者）医療施設利用状況（単位：人、%）

| 区 分             |           |             | 後 期 高 齢 者          |                |                    |                |
|-----------------|-----------|-------------|--------------------|----------------|--------------------|----------------|
|                 |           |             | 入 院                |                | 外 来                |                |
|                 |           |             | 患 者 数<br>（ 延 日 数 ） | 構 成 比<br>（ % ） | 患 者 数<br>（ 延 日 数 ） | 構 成 比<br>（ % ） |
| 魚 沼 医 療 圏       | 魚 沼 市     | 小 出 病 院     | 35,170             | 38.8%          | 18,992             | 22.6%          |
|                 |           | 堀之内医療センター   | —                  | —              | 3,050              | 3.6%           |
|                 |           | 守 門 診 療 所   | —                  | —              | 4,592              | 5.5%           |
|                 |           | 入 広 瀬 診 療 所 | —                  | —              | 1,316              | 1.6%           |
|                 |           | ほ ん だ 病 院   | 24,496             | 27.0%          | 4,438              | 5.3%           |
|                 |           | そ の 他 診 療 所 | —                  | —              | 38,935             | 46.3%          |
|                 |           | 魚 沼 市 小 計   | 59,666             | 65.8%          | 71,323             | 84.8%          |
|                 | 魚 沼 市 以 外 | 病 院         | 20,602             | 22.7%          | 5,886              | 7.0%           |
|                 |           | 診 療 所       | —                  | —              | 650                | 0.8%           |
|                 | 医 療 圏 小 計 |             | 80,268             | 88.5%          | 77,859             | 92.5%          |
| 医 療 圏 外 （ 県 内 ） |           |             | 8,801              | 9.7%           | 5,314              | 6.3%           |
| 新 潟 県 外 等       |           |             | 1,643              | 1.8%           | 975                | 1.2%           |
| 総 数             |           |             | 90,712             | 100%           | 84,148             | 100%           |

出典) 魚沼市資料

## 4. 魚沼市の将来患者数予測

### (1) 魚沼市の国保・後期高齢者等の加入者割合

図表4-1は、魚沼市の令和2年（2020年）における国保、後期高齢者及びその他（全国健康保険協会被保険者、組合管掌健康保険被保険者をはじめとする社会保険被保険者（以下「社保」という。）の各保険者の加入割合を示したものです。

図表 4-1/その1 魚沼市の国保・後期高齢者等の加入者割合 （単位：％）

| 区 分           | 国 保   | 後 期 高 齢 者 | 社 保   |
|---------------|-------|-----------|-------|
| 0 ～ 14 歳      | 9.6%  | 0.0%      | 90.4% |
| 15 ～ 64 歳     | 17.3% | 0.0%      | 82.7% |
| 65 ～ 74 歳     | 69.1% | 1.8%      | 29.1% |
| 75 歳 以 上（再 掲） | 0.0%  | 100.0%    | 0.0%  |
| 85 歳 以 上（再 掲） | 0.0%  | 100.0%    | 0.0%  |

出典）国勢調査 魚沼市5歳階級別人口  
 令和2年（2020年）国民健康保険実態調査 被保険者数  
 令和2年（2020年）新潟県後期高齢者医療広域連合 被保険者数

## （２）魚沼市の年齢階級別受療率

図表4-1/その２ 魚沼市の年齢階級別受療率は魚沼市の総数（病院・診療所）の年齢階級別受療率（人口10万対）を示したものです。

なお、図表4-1/その２は魚沼市の国保と後期高齢者の患者受療動向をもとに受療率（人口10万対）を算出しています。

図表 4-1/その２ 魚沼市の年齢階級別受療率

（単位：人）

| 区 分           | 入 院   | 外 来   |
|---------------|-------|-------|
| 総 数           | 902   | 1,693 |
| 0 ～ 4 歳       | 13    | 179   |
| 5 ～ 14 歳      | 6     | 197   |
| 15 ～ 24 歳     | 14    | 216   |
| 25 ～ 34 歳     | 48    | 210   |
| 35 ～ 44 歳     | 86    | 280   |
| 45 ～ 54 歳     | 185   | 455   |
| 55 ～ 64 歳     | 245   | 679   |
| 65 ～ 74 歳     | 805   | 2,480 |
| 75 ～ 84 歳     | 2,333 | 5,280 |
| 85 歳 以 上      | 5,127 | 5,016 |
| 65 歳 以 上（再 掲） | 2,218 | 3,903 |
| 75 歳 以 上（再 掲） | 3,478 | 5,172 |

出典）魚沼市資料

15頁の図表4-1/その１ 魚沼市の国保・後期高齢者等の加入者割合と、16頁の図表4-1/その２ 魚沼市の年齢階級別受療率と、11頁の図表2-3/その３ 魚沼市と北部地域の年齢３区分将来推計人口をもとに、17頁以降で、市全体と北部地域の将来の１日あたりの入院・外来患者数を予測します。

### （３）魚沼市における65歳以上の将来患者数予測

図表4-1/その１（15頁）のとおり、0～14歳（年少人口）及び15～64歳（生産年齢人口）については、社保の加入割合が全体の8割以上を占めています。

一方、将来患者数は国保・後期高齢者の受療率をもとに予測します。

また、市立医療機関の受診者は65歳以上が中心です。

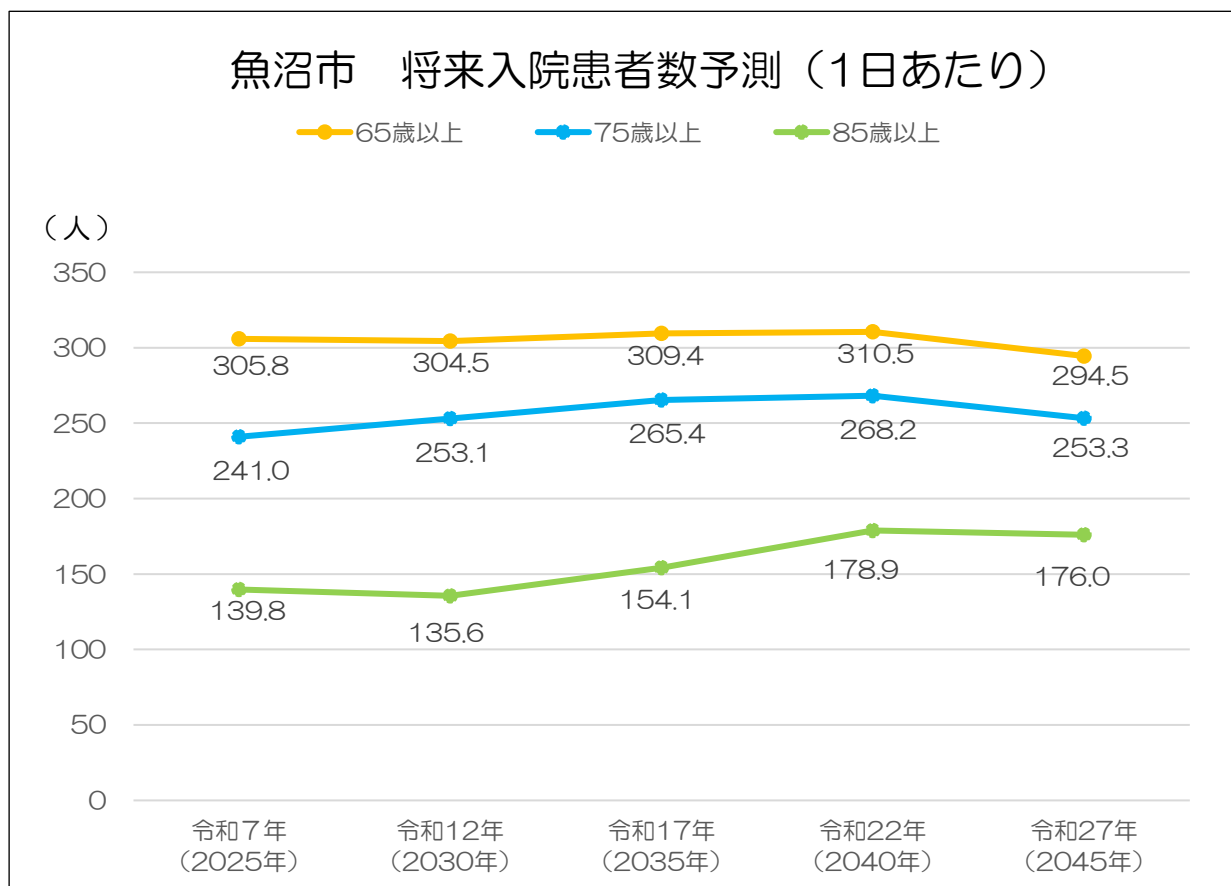
これらを踏まえ、将来の患者数は65歳以上を対象に予測します。

図表4-2の市全体の入院患者数予測を見ると、65歳以上（高齢人口）患者数、75歳以上（後期高齢者人口）患者数と85歳以上の患者数は令和22年（2040年）をピークに、増加から減少に転じる見込みです。

図表4-2 魚沼市 65歳以上将来入院患者数予測（1日あたり）

（単位：人）

| 区 分   |          | 令和7年<br>(2025年) | 令和12年<br>(2030年) | 令和17年<br>(2035年) | 令和22年<br>(2040年) | 令和27年<br>(2045年) |
|-------|----------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 魚 沼 市 | 65 歳 以 上 | 305.8           | 304.5            | 309.4            | 310.5            | 294.5            |
|       | 75 歳 以 上 | 241.0           | 253.1            | 265.4            | 268.2            | 253.3            |
|       | 85 歳 以 上 | 139.8           | 135.6            | 154.1            | 178.9            | 176.0            |



出典）魚沼市資料

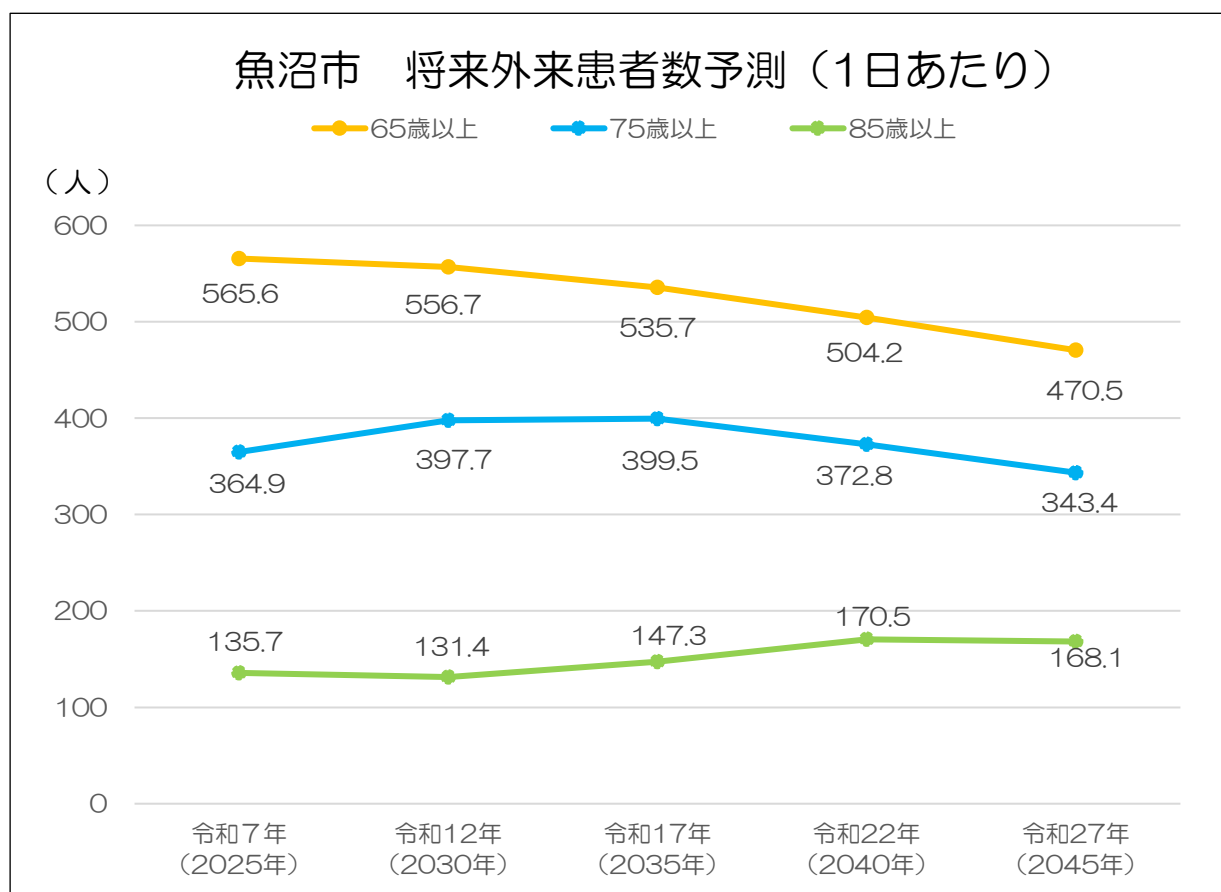
図表4-3の市全体の外来患者数予測を見ると、65歳以上（高齢人口）患者数は減少していく見込みです。

また、75歳以上（後期高齢者人口）患者数を見ると令和17年（2035年）をピークに、85歳以上の患者数を見ると令和22年（2040年）をピークに、増加から減少に転じる見込みです。

図表4-3 魚沼市 65歳以上将来外来患者数予測（1日あたり）

（単位：人）

| 区 分   |          | 令和7年<br>(2025年) | 令和12年<br>(2030年) | 令和17年<br>(2035年) | 令和22年<br>(2040年) | 令和27年<br>(2045年) |
|-------|----------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 魚 沼 市 | 65 歳 以 上 | 565.6           | 556.7            | 535.7            | 504.2            | 470.5            |
|       | 75 歳 以 上 | 364.9           | 397.7            | 399.5            | 372.8            | 343.4            |
|       | 85 歳 以 上 | 135.7           | 131.4            | 147.3            | 170.5            | 168.1            |



出典）魚沼市資料

#### （４）北部地域における65歳以上の将来患者数予測

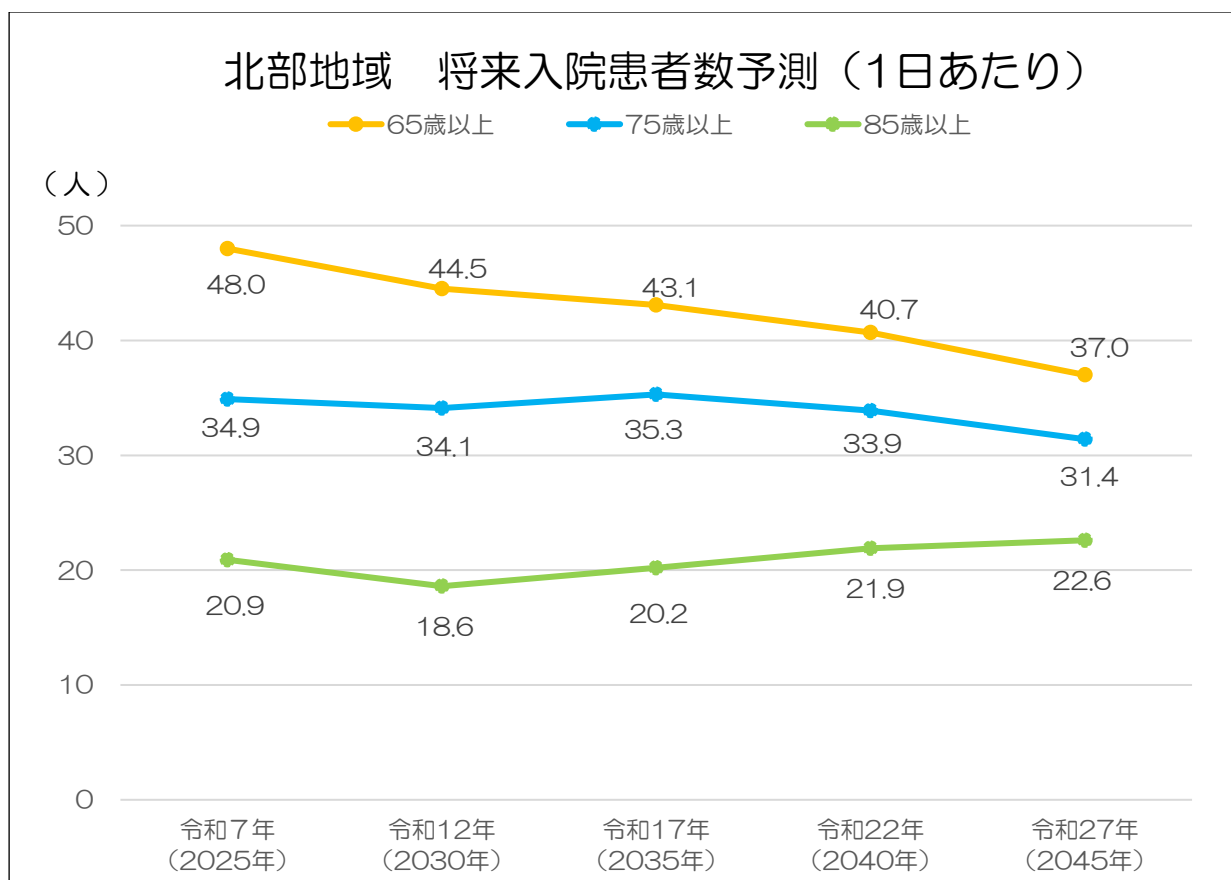
図表4-4の北部地域の入院患者数予測を見ると、65歳以上（高齢人口）患者数は減少していく見込みです。

また、75歳以上（後期高齢者人口）患者数を見ると、令和17年（2035年）をピークに、増加から減少に転じる見込みです。85歳以上の患者数を見ると、令和12年（2030年）から増加に転じる見込みです。

図表4-4 北部地域 65歳以上将来入院患者数予測（1日あたり）

（単位：人）

| 区 分     |          | 令和7年<br>(2025年) | 令和12年<br>(2030年) | 令和17年<br>(2035年) | 令和22年<br>(2040年) | 令和27年<br>(2045年) |
|---------|----------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 北 部 地 域 | 65 歳 以 上 | 48.0            | 44.5             | 43.1             | 40.7             | 37.0             |
|         | 75 歳 以 上 | 34.9            | 34.1             | 35.3             | 33.9             | 31.4             |
|         | 85 歳 以 上 | 20.9            | 18.6             | 20.2             | 21.9             | 22.6             |



出典）魚沼市資料

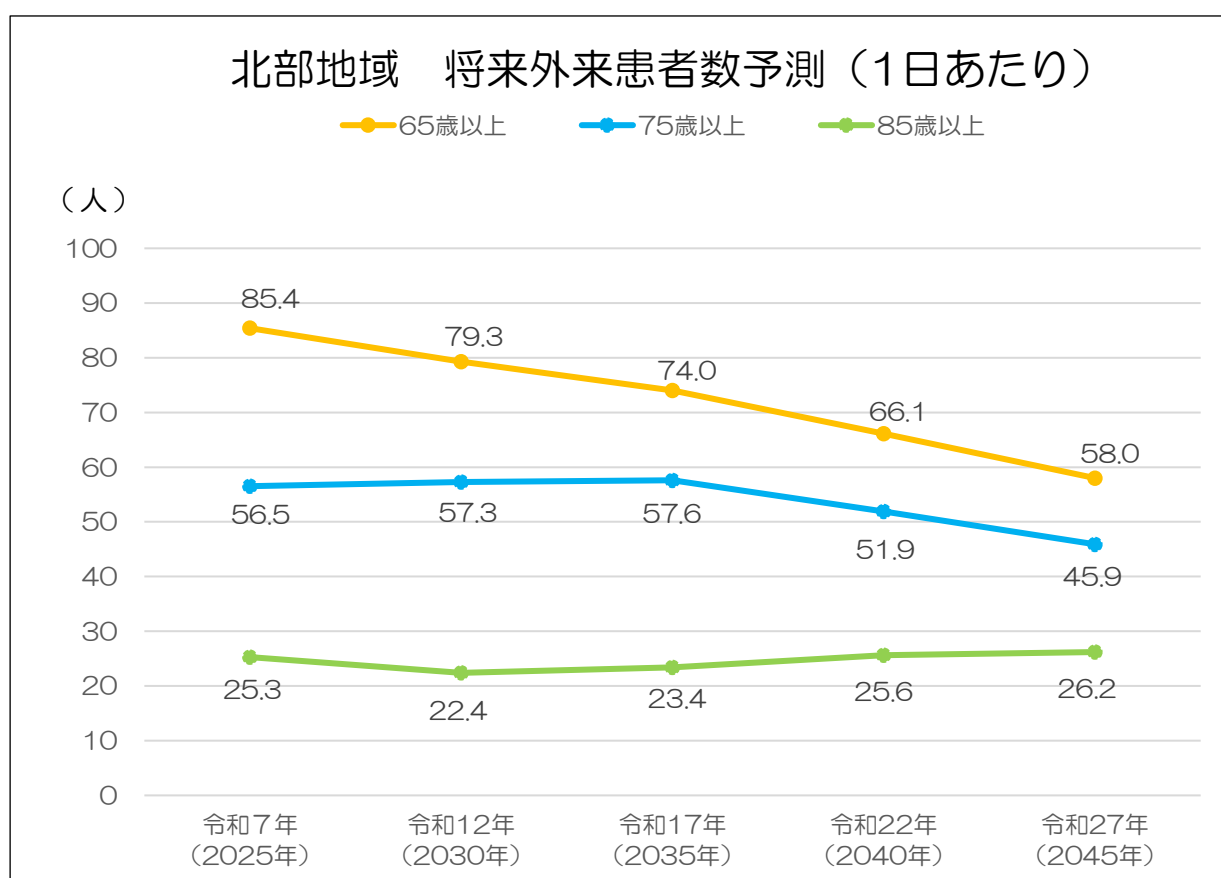
図表4-5の北部地域の外来患者数予測を見ると、65歳以上（高齢人口）患者数は減少していく見込みです。

また、75歳以上（後期高齢者人口）患者数を見ると令和17年（2035年）をピークに、増加から減少に転じる見込みです。85歳以上の患者数を見ると令和12年（2030年）まで減少し、その後緩やかに増加する見込みです。

図表4-5 北部地域 65歳以上将来外来患者数予測（1日あたり）

（単位：人）

| 区 分     |          | 令和7年<br>(2025年) | 令和12年<br>(2030年) | 令和17年<br>(2035年) | 令和22年<br>(2040年) | 令和27年<br>(2045年) |
|---------|----------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 北 部 地 域 | 65 歳 以 上 | 85.4            | 79.3             | 74.0             | 66.1             | 58.0             |
|         | 75 歳 以 上 | 56.5            | 57.3             | 57.6             | 51.9             | 45.9             |
|         | 85 歳 以 上 | 25.3            | 22.4             | 23.4             | 25.6             | 26.2             |



出典）魚沼市資料

## 5. 魚沼市における医療提供体制の現況と課題

### 5.1. 魚沼市における医療提供体制の現況

#### (1) 小出病院

小出病院は、大正13年（1924年）に地域住民の出資によって設立された「魚沼共済病院」を前身とする、長い歴史を持つ病院です。

戦前・戦後の変遷を経て昭和24年（1949年）新潟県に移管され「県立魚沼共済病院」となり、平成27年（2015年）6月1日には魚沼地域の医療再編により魚沼市へ移譲され、「魚沼市立小出病院」として新たにスタートしました。

小出病院は、高度急性期医療を担う新潟県立魚沼基幹病院（以下「魚沼基幹病院」という。）と連携し、地域に密着した医療を提供しています。一次・二次救急から回復期・慢性期まで切れ目のない医療体制を整え、幅広い医療ニーズに対応しています。

高齢化が進む魚沼地域では、在宅医療、緩和ケア、高齢者ケアなど包括的な医療サービスの重要性が高まっています。小出病院は、クリニックや介護施設と連携しながら、市民の皆さまが安心して暮らせる地域包括ケアシステム<sup>5</sup>の医療拠点としての役割を果たしています。



<sup>5</sup> 高齢者の尊厳を守り、自立した生活を支援するという目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けられるように構築された、地域における包括的な支援体制

小出病院の1日あたり入院患者数等の推移は、図表5-1/その1のとおりです。

令和5年度（2023年度）から一般病棟を急性期病棟と地域包括ケア病棟の2つに分けたため、一般（地域包括）欄の数値は令和5年度（2023年度）からとなっています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度（2021年度）の各数値は特に悪化していますが、令和6年度（2024年度）にはほぼ回復しています。

療養病棟は令和4年度（2022年度）以降、各数値が悪化傾向にあります。

図表5-1/その1 小出病院の1日あたり入院患者数等の推移

（単位：人、%、日）

| 区 分 \ 年 度     |                | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|---------------|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 一 般<br>(急性期)  | 1日あたり入院患者数（人）  | 83.4              | 75.8              | 81.5              | 41.7              | 41.6              |
|               | 病 床 利 用 率（%）   | 92.6              | 84.2              | 90.6              | 94.7              | 94.7              |
|               | 平 均 在 院 日 数（日） | 19.1              | 20.8              | 19.1              | 17.7              | 19                |
| 一 般<br>(地域包括) | 1日あたり入院患者数（人）  | 0                 | 0                 | 0                 | 40.9              | 43                |
|               | 病 床 利 用 率（%）   | 0                 | 0                 | 0                 | 88.9              | 93.5              |
|               | 平 均 在 院 日 数（日） | 0                 | 0                 | 0                 | 21.1              | 22.2              |
| 療 養           | 1日あたり入院患者数（人）  | 39.9              | 36.6              | 41.9              | 38.9              | 38.3              |
|               | 病 床 利 用 率（%）   | 90.7              | 83.2              | 95.3              | 88.5              | 87.1              |
|               | 平 均 在 院 日 数（日） | 62.9              | 60.7              | 73.6              | 85.3              | 79                |

出典）一般財団法人魚沼市医療公社資料

小出病院の延べ外来患者数及び1日あたり外来患者数の推移は、図表5-1/その2のとおりです。

延べ外来患者数及び1日あたりの外来患者数を見ると、令和4年度（2022年度）は一時的に増加しています。これは、小児科外来を一時的に週1日から週5日にしたことによる影響です。

図表5-1/その2 小出病院の外来患者数の推移

（単位：人）

| 項 目                 | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 延 べ 外 来 患 者 数       | 64,499            | 64,153            | 67,342            | 62,034            | 60,268            |
| 1 日 あ た り 外 来 患 者 数 | 255.7             | 254.8             | 267.2             | 245.5             | 238.6             |

出典）一般財団法人魚沼市医療公社資料

出典）魚沼市資料

## （２）堀之内医療センター

堀之内医療センターは、昭和21年（1946年）に創立された「郷立堀之内組合病院」を前身とする医療機関です。昭和24年（1949年）に堀之内町へ移譲され、「町立堀之内病院」となりました。

その後、平成16年（2004年）の町村合併により「魚沼市立堀之内病院」と名称を変更し、平成27年（2015年）の魚沼地域医療再編に伴って一般病床を小出病院へ移しました。平成29年（2017年）には病床機能を全て小出病院へ集約し、同年より「堀之内医療センター」として新たに運営を開始しました。堀之内医療センターについては、図表5-5（27頁）のとおりとなっています。



また、堀之内医療センターの外来患者数及び訪問診療患者数は図表5-2のとおりとなっています。

図表5-2 堀之内医療センターの外来患者数・訪問診療患者数（単位：人、日）

| 項 目              | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 延べ外来患者数（内科）      | 5,715             | 5,168             | 4,660             | 4,915             | 5,036             |
| 延べ外来患者数（整形外科）    | 1,829             | 1,898             | 1,942             | 2,081             | 2,085             |
| 1日あたり外来患者数（内科）   | 23.5              | 21.4              | 19.3              | 20.5              | 22.8              |
| 1日あたり外来患者数（整形外科） | 26.5              | 27.9              | 28.6              | 30.6              | 29.4              |
| 診療日数（内科）         | 243               | 242               | 241               | 240               | 221               |
| 診療日数（整形外科）       | 69                | 68                | 68                | 68                | 71                |
| 訪問診療患者数          | 352               | 239               | 162               | 204               | 179               |

注）1日あたり外来患者数は延べ外来患者数を診療日数で除して算出

### （３）守門診療所

守門地区は、昭和31年（1956年）に須原村と上条村が合併して誕生した守門村を前身とし、現在に至っています。

守門診療所は、守門地区の医療拠点として地域医療を支えるだけでなく、広神地区の特別養護老人ホーム「美雪園」、守門地区の特別養護老人ホーム「あぶるま苑」、入広瀬地区の「ふれあいの郷ひめさゆり」へ巡回し、診療を行っています。

守門診療所については、図表5-5（27頁）のとおりとなっています。



また、守門診療所の外来患者数及び訪問診療患者数は図表5-3のとおりとなっています。

図表5-3 守門診療所の外来患者数・訪問診療患者数

（単位：人、日）

| 項 目           | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 延 べ 外 来 患 者 数 | 6,354             | 6,529             | 5,920             | 5,781             | 7,136             |
| 1日あたり外来患者数    | 28.1              | 28.8              | 25.6              | 25.4              | 29.7              |
| 診 療 日 数       | 226               | 227               | 231               | 228               | 240               |
| 訪 問 診 療 患 者 数 | 402               | 417               | 348               | 273               | 215               |

注）1日あたり外来患者数は延べ外来患者数を診療日数で除して算出

#### （４）入広瀬診療所

入広瀬地区は、明治22年（1889年）の町村制施行により、北魚沼郡の穴沢村・平野又新田・芋鞘新田・大栃山村・田小屋村・大白川新田が合併して入広瀬村として発足しました。明治26年（1893年）には高根村の一部を編入し、平成16年（2004年）の町村合併を経て現在に至っています。

入広瀬診療所は、地域住民の健康を支える医療拠点として運営されており、入広瀬地区の特別養護老人ホーム「寿和ホーム」への巡回診療も行っています。

入広瀬診療所については、図表5-5（27頁）のとおりとなっています。



また、入広瀬診療所の外来患者数及び訪問診療患者数は図表5-4のとおりとなっています。

図表5-4 入広瀬診療所の外来患者数・訪問診療患者数

（単位：人、日）

| 項 目           | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 延 べ 外 来 患 者 数 | 2,005             | 1,966             | 1,896             | 1,944             | 1,843             |
| 1日あたり外来患者数    | 20.9              | 20.1              | 19.5              | 20.0              | 19.0              |
| 診 療 日 数       | 96                | 98                | 97                | 97                | 97                |
| 訪 問 診 療 患 者 数 | 154               | 147               | 121               | 147               | 181               |

注）1日あたり外来患者数は延べ外来患者数を診療日数で除して算出

図表5-5 魚沼市国保直営診療所一覧

| No. | 施設名称      | 建築年<br>(年) | 築年数<br>(年) | 診療日             | 診療科目       | 複合施設                                                   |
|-----|-----------|------------|------------|-----------------|------------|--------------------------------------------------------|
| 1   | 堀之内医療センター | 1979       | 46         | 月曜日<br>～<br>金曜日 | 内科<br>整形外科 |                                                        |
| 2   | 守門診療所     | 1994       | 31         | 月曜日<br>～<br>金曜日 | 内科         | ・守門保健センター<br>・守門デイサービスセンター<br>・守門高齢者居住施設<br>・守門訪問介護事業所 |
| 3   | 入広瀬診療所    | 2003       | 22         | 火曜日<br>金曜日      | 内科         | ・入広瀬保健センター                                             |

## 5.2. 魚沼市における医療提供体制の課題

### (1) 人材の確保

地方においては、医師・看護師をはじめとする医療人材不足の深刻化が懸念されており、特に医師偏在の解消は、地域における医療提供体制の確保にとって喫緊の課題です。

魚沼市においても、医師・看護師の確保は、全国と比較しても非常に厳しい状況にあります。

そのため、平成22年(2010年)12月20日に魚沼市医師等修学資金貸与条例を制定し、医療人材の確保に努めてきました。

図表5-6 魚沼市医師看護師修学資金貸与実績一覧

(単位：人)

| 貸与開始年度 |     | 令和2年度<br>(2020年度) | 令和3年度<br>(2021年度) | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) |
|--------|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 医師     | 新規  | 1                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
|        | 延人数 | 4                 | 5                 | 5                 | 5                 | 5                 |
| 看護師    | 新規  | 6                 | 7                 | 3                 | 4                 | 1                 |
|        | 延人数 | 20                | 25                | 31                | 32                | 32                |

注) 延人数については修学資金辞退者・途中退職者を除く。

しかし、制度を実際に運用していく中で、看護師については、小出病院等の市内医療機関に就業していても、返済免除期間の満了後に医療機関

を退職し、市外へ転出することが発生しています。今後は、定着を促進するための対策を講じる必要があります。

また、医師については、修学資金貸与の目的が小出病院勤務であり、そのためには、内科又は総合診療科を選択することが望ましいとされますが、実際にはこれ以外の専門分野を選択するケースもあります。

そもそも医師になるためには、学部教育・初期研修・後期研修を通じて幅広い診療領域を学ぶ10年から12年の育成期間が必要であり、修学資金貸与希望者に対して、入学時点で市が期待する専門診療科の選択を強制することは困難です。

このため、制度の見直しや新たな付帯制度を講じる必要があります。

## （２）施設の老朽化対策

### ⅰ 小出病院

#### ① 入院棟

小出病院の入院棟は、平成元年（1989年）に整備されてから36年が経過しており、新潟県から魚沼市へ移管された平成27年（2015年）に大規模改修を実施しています。一般的に病院施設の耐用年数は30年から40年と言われており、現在は更新時期に入っている建物です。

特に老朽化が著しいのは給排水管であり、埋め込み式であるため入れ替えが困難な状況となっています。

今後は、病棟の役割・機能を具体的に検討した基本計画を早期に策定し、計画的な整備を進める必要があります。

#### ② 外来棟設備

小出病院の外来棟は、平成27年（2015年）の整備から10年が経過しています。建物本体の更新は現時点では必要ありませんが、空調設備に不具合が生じており、突発的なトラブルが頻発しています。一般的に空調や配管等のインフラ設備は15年から20年程度で更新が必要といわれており、年数的にはまだ更新時期には達していないものの、計画的な更新を検討する必要があります。

### ③医療機器

病院運営には医療機器が欠かせません。現在使用している医療機器は、平成27年（2015年）の病院整備の際に新規に購入したものと、新潟県立病院時代に使用していた機器の譲渡を受けたものです。

耐用年数は医療機器により様々であるため、それぞれの耐用年数と実際の使用状況を勘案し、医療機器更新計画を策定して更新を進めています。

#### ii 堀之内医療センター

堀之内医療センターは、図表5-5 魚沼市国保直営診療所一覧（27頁）のとおり、昭和54年（1979年）に整備されてから46年が経過しており、3診療所の中で最も老朽化が進んでいます。

また、平成29年（2017年）までは堀之内病院として稼働していました。一般的に病院施設の耐用年数は30年から40年と言われており、更新時期に入っている建物です。

したがって、更新にあたっては、施設の役割・機能を具体的に検討した基本計画を策定したうえで、計画的な整備を進める必要があります。

#### iii 守門診療所

守門診療所は、図表5-5 魚沼市国保直営診療所一覧（27頁）のとおり、平成6年（1994年）に整備されてから31年が経過しています。一般的に病院施設の耐用年数は30年から40年と言われており、現在は更新時期に入っている建物です。

更新にあたっては、施設の役割や機能を具体的に検討した基本計画を策定したうえで、計画的な整備を進める必要があります。

#### iv 入広瀬診療所

入広瀬診療所は、図表5-5 魚沼市国保直営診療所一覧（27頁）のとおり、平成15年（2003年）に整備されてから22年が経過しており、比較的新しい施設です。

しかし、令和7年（2025年）には空調設備が故障し、部品が製造中止となっているため修繕ができない状況となっています。

また、エレベーターをはじめとする機械設備にも不具合が生じています。

一般的に空調、配管等のインフラ設備は15年から20年程度で更新が必要とされており、各設備は更新時期に入っています。

今後は、設備等の大規模改修工事による耐用年数延伸又は小出病院のサテライト化を踏まえ、施設の役割や機能を具体的に検討した基本計画を策定したうえで、計画的な整備を進める必要があります。

魚沼市が「暮らしやすく暮らし続けられて暮らし終わられるまち」であるよう、魚沼市の医療提供体制を第6章 魚沼市における医療提供体制の方向性で検討します。

## 6. 魚沼市における医療提供体制の方向性

### 6.1. 魚沼市における医療提供体制の方向性

団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）以降、少子高齢化はさらに進み、令和22年（2040年）頃には高齢者の割合がピークを迎えると見込まれています。

令和22年（2040年）頃を視野に入れつつ、次の4点（高齢者救急への対応、在宅医療への対応、医療の質・医療従事者の確保への対応、医療DX等の推進）を中心として、限りある医療資源を最適化及び効率化しながら、「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割を明確化し、地域完結型の医療介護提供体制を構築する必要があります。

また、前章で整理した医療提供体制の課題への対応も必要となります。

#### （1）高齢者救急への対応

高齢者に多い在宅療養者・施設療養者は、潜在的に内的（身体的・精神的）機能が低下した状態にあり、常に入院の可能性を抱えています。体調不良時には「ときどき入院」によって早期に生活機能の回復を図ることが、地域包括ケアシステム<sup>6</sup>の重要な役割です。

入院の契機は救急搬送による場合が多い一方、医療資源の地域内配分により、夜間・休日の救急センター機能を担う魚沼基幹病院へ搬送される割合が高くなっています。

魚沼基幹病院で一定期間の急性期治療のあと、早期に小出病院に転院し、生活機能をできるだけ維持するため、早期からのリハビリテーション及び退院調整を行い、「ほぼ在宅」での生活機能を維持（支える）することが必要です。

---

<sup>6</sup> 21頁再掲 高齢者の尊厳を守り、自立した生活を支援するという目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けられるように構築された、地域における包括的な支援体制

そのため、魚沼基幹病院へ搬送された主に高齢の患者を小出病院へ運ぶための「下り搬送システム<sup>7</sup>」を整備します。

また、このシステムは、在宅や施設からの受け入れ要請にも対応できる「お迎え搬送システム」としても機能させ、医療・介護連携の円滑化を進めます。

## （２）在宅医療への対応

在宅医療は、「医療ケアが必要な人が自宅に入院している」という考え方に基づくものであり、病院等の施設での医療と同様の体制が求められます。病床とは、医療の眼である看護に支えられたベッドを意味します。それが自宅であっても施設であっても、病院の病床と同様に24時間対応が可能であることが必要であり、その基本となるのがナースコール体制の確保です。「自宅入院」であっても、「ときどき入院、ほぼ在宅」を原則としています。

現在、市内では在宅医療が約300件程度行われており、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）及び介護老人保健施設の病床機能の計400床と合わせると、市全体で合計約700床分の病床機能を有していると考えています。

市立医療機関では、小出病院が市全体のセンター的医療拠点として機能しています。

また、地域拠点として、堀之内医療センター、守門診療所及び入広瀬診療所が設置されています。小出病院からの距離は、堀之内医療センターまで約4km、守門診療所まで約10km、入広瀬診療所まで約16kmであり、それぞれの地域拠点が半径おおむね10km圏域をカバーしています。

一方で、小出病院と北部地域の診療所との距離はかなり離れており、これが北部地域の医療を支えるうえでの課題の一つとなっています。

また、北部地域から小出病院へ通院する際にも、この距離が負担となっています。このため、魚沼市では公共交通施策、タクシー券交付等、福祉施策により支援を行っています。

---

<sup>7</sup> 重症度の高い病院から軽症度の病院への移送のこと。

今後、さらなる人口減少が見込まれる中、プライマリ・ケア<sup>8</sup>の持続性を確保するため、人口減少が著しい北部地域では守門診療所を診療拠点と位置付けます。外来診療に加え、訪問診療や訪問看護も行います。

また、小出病院を医療MaaS（移動診療車）<sup>9</sup>及びオンライン診療の拠点と位置付け、巡回診療機能の拡充や各診療所への支援を行います。

今後も訪問診療の充実を図るとともに、訪問看護・リハビリステーションによる市内全域をカバーする体制を継続していきます。

### （３）医療の質・医療従事者への対応

超高齢化の進展に伴い、医療資源を大量に投入する超急性期医療や専門医療（治す医療）の需要は減少していきます。

一方で、生活モデルの最適化を重視する包括的医療ケア（治し支える医療）の需要は増加していきます。

魚沼医療圏の医療再編成のテーマは「地域完結型医療」の構築でした。需要が徐々に減少する高度専門医療機能が分散したままでは、人材育成に必要な研修機会が確保しにくくなるだけでなく、少ない患者を奪い合うことによる「共倒れ」のリスクも高まります。

高度専門機能が必要な症例の魚沼基幹病院への集約は、魚沼医療圏の持続可能性担保の原則でなければならず、再編成の理念である「選択と集中・機能分担と連携」に基づき、小出病院と魚沼基幹病院との間には競合領域を作らず、連携体制を構築してきました。

令和７年（２０２５年）に向けた地域医療構想において明確に規定された、小出病院の役割は「地域包括ケアシステムを支える地域密着型病院」です。この役割そのものを人材確保のマグネットとし、対外的な発表や報告の機会を積極的に活用します。

---

<sup>8</sup> 患者の抱える大部分の健康問題に対処し、地域や家族の枠組みの中で、継続的かつ総合的な診療を責任を持って提供する医療サービスのこと。

<sup>9</sup> 医療 MaaS（Medical Mobility as a Service）とは、医療に「移動（Mobility）」の概念を組み合わせた新しいサービスのこと。情報通信技術（ICT）やオンライン通信を活用し、通院が難しい高齢者など、移動に制約のある人に医療サービスを届けることを目的としています。

また、医育機関、看護師学校等の医療関係技術者養成学校への情報発信や教育機会を最大限に利用し、「地域包括ケアシステムを学べる病院」というブランド力の醸成を目指します。

ブランディングの柱として、「地域医療教育研修センター」及び「地域医療魚沼学校」の情報発信に積極的に取り組みます。

若年層の人材確保に加え、多様なキャリアを経て地域医療への親和性が高いと見込まれるセカンドキャリア人材の登用も、人材確保の重要な柱として期待されます。

新たに整備したIVR<sup>10</sup>緩和医療機能は、世界的にも類を見ない「IVRと地域医療の出会い」を実現・発信する場となり、「暮らし続けられて暮らし終えられる」機能の向上に資する取組に成長させるとともに、地域医療ブランドとして人材確保のマグネットとなることを考えています。

厚生労働省は、実効性ある総合的な医師偏在対策として「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」を公表しました。その一環として、経済的インセンティブを活用した「診療所の承継・開業支援事業」を先行して実施することとしており、新潟県も同様の取組を進めています。

魚沼市では独自に「魚沼市診療所新規開業等支援事業補助金交付要綱」を定め、診療所の新規開設、継承に対して助成を行うほか、「魚沼市医師等修学資金貸与条例」や「魚沼市看護師等移住・就業支援金交付要綱」により、医療人材の育成・確保に努めています。

今後は、新潟県が策定する医師偏在是正プラン等の動向を注視しつつ、引き続き医療従事者の確保を図っていきます。

#### （４）医療DX等の推進

今後、医療従事者は確実に減少し、業務の効率化の重要性はさらに高まっています。実効的なICT・DXの導入、タスクシェア/シフトに取り組まなければなりません。国の進める医療DXに積極的に参加し、魚沼医療圏

---

<sup>10</sup> IVRはインターベンショナル・ラジオロジー（Interventional Radiology）の略で、画像下治療という和名があり、X線透視やCTなどの画像で体の中を見ながらカテーテルや針を使って行う治療のこと。

が持つ「うおぬま・米（まい）ねっと<sup>11</sup>」と二本柱で、地域医療のデジタル化を進めます。そのためには医療DXの受益者である全市民がマイナ保険証を取得するよう、市全体で取り組む必要があります。

また、市立医療機関の指定管理者である一般財団法人魚沼市医療公社に対し、定型事務業務のRPA<sup>12</sup>化に取り組むよう指導を行い、RPAにより生じた余裕を事務管理部門が分析・企画・進行管理に向けることができるよう業務の効率化を図ります。

また、診療部における事務作業も同様にRPA化し、診療部職員の増と同様な効果を発揮させます。

---

<sup>11</sup> 特定非営利活動法人魚沼地域医療連携ネットワーク協議会によって設置された魚沼地域医療介護連携ネットワークシステムです。このシステムは、魚沼地域における医療と介護の連携を強化することを目的としています。

<sup>12</sup> RPAはロボティック・プロセス・オートメーション（Robotic Process Automation）の略で、業務における定型的な作業をソフトウェアロボットによって自動化する技術のこと。

## 6.2. 魚沼市立小出病院及び魚沼市国保直営診療所の方向性

---

### (1) 魚沼市における医療公社の医療機関の方向性

魚沼市地域医療計画を検討するにあたり、本報告書の第2章から第5章で、魚沼市の状況（地域特性・将来推計人口・患者の受療動向・将来患者数予測・医療提供体制等）を確認してきました。

また、魚沼市の将来の医療提供体制に関して、第6章の1では魚沼市における医療提供体制の方向性について、医療公社の運営及び経営における将来的な考え方（グランドデザイン）を確認しました。

これらを踏まえ、医療公社の医療機関（小出病院・堀之内医療センター・守門診療所・入広瀬診療所）の方向性について示します。

### (2) 小出病院の方向性

#### ア) 今後の検討課題等

小出病院の入院棟は、平成元年（1989年）9月の竣工から36年が経過し、老朽化が進んでいます。

また、小出病院の外来棟は、平成27年（2015年）6月に新築され、設備の使用年数が10年を経過し更新を検討する必要があります。

さらに、今後の人口減少に伴い、小出病院の将来の入院・外来患者数の予測を適切に行う必要があります。

#### イ) 方針

小出病院は医療公社で唯一の入院機能を持つ医療機関のため、入院棟の老朽化への対策と並行し、次年度以降に策定予定の「魚沼市立小出病院病棟改築（改修）基本計画（仮称）」の中で、適切な病床数・病棟構成を検討します。

#### ウ) 検討案

小出病院の方向性については、以下の案を検討します。

| No. | 検 討 案             | 概 要                                  |
|-----|-------------------|--------------------------------------|
| 1   | 入 院 棟 の 改 築       | 敷地内駐車場等への移転改築                        |
| 2   | 外 来 棟 の 大 規 模 改 修 | 設備等の大規模改修工事による耐用年数延伸                 |
| 3   | 病床規模・病床構成等の検討     | 1 及び 2 の施設面の検討と並行し、<br>病床規模・病床構成等を検討 |

## エ) スケジュール等

次年度以降、適切な時期に検討します。

## (3) 堀之内医療センターの方向性

### ア) 今後の検討課題等

堀之内医療センターは、築年数46年と最も老朽化が進んでいます。もともと病院のため建物の規模が大きく、維持費が診療所としての運用規模と見合っておりません。増築により隣接している療養病棟及び社会福祉センターを改修し、令和7年（2025年）11月1日から魚沼市特別養護老人ホーム「鮎の里」として開所したため、医療・介護連携にも留意する必要があります。

また、魚沼市洪水・土砂災害ハザードマップ（令和5年3月時点）によると、堀之内医療センターは魚野川からの洪水浸水深さ5m～10mに位置するため、対策の検討が必要となります。

### イ) 方針

小出病院とは車で10分程の距離であり、また隣接して特別養護老人ホームが新設されたこともあるため、現敷地をベースとして検討します。

また、洪水等災害への対策についても、今後策定する施設整備計画(仮称)で検討します。施設の規模は将来予測される外来患者数等に基づき、適切な規模とします。

#### ウ) 検討案

堀之内医療センターの方向性については、現敷地内駐車場等への全面改築を検討します。

#### エ) スケジュール等

次年度以降、適切な時期に検討します。

### (4) 守門診療所の方向性

#### ア) 今後の検討課題等

守門診療所についても、築年数31年と老朽化が進んでいるため対策が必要となっています。隣接している魚沼市守門デイサービスセンター、特別養護老人ホーム「あぶるま苑」との医療・介護連携にも留意が必要です。

また、北部地域の訪問診療の重要な拠点となっています。

#### イ) 方針

堀之内医療センターと同じく、施設の規模は将来予測される外来患者数等に基づき、適切な規模とします。

また、訪問診療において重要な拠点となっていることを鑑み、現敷地での大規模改修をベースとして検討します。

#### ウ) 検討案

守門診療所の方向性については、設備等の大規模改修工事による耐用年数延伸を検討します。

#### エ) スケジュール等

次年度以降、適切な時期に検討します。

## （５）入広瀬診療所の方向性

### ア）今後の検討課題等

入広瀬診療所については、築年数22年と比較的新しい施設となっていますが、設備の故障等への対応が必要となっています。別施設ではありますが隣接している特別養護老人ホーム「寿和ホーム」へ、入広瀬診療所の医師が定期回診しています。

また、かつてへき地診療所が存在していた大白川地域等、入広瀬診療所からさらに山間への患者に対する拠点となっている点や、入広瀬診療所と合築する形で民間の歯科診療所が運営していることもあり、山間地域の医療及び歯科診療の重要拠点となっています。

現在の敷地には建替え可能なスペースがそれほどない点にも留意が必要です。

### イ）方針

施設の規模は将来予測される外来患者数等に基づき、適切な規模とします。

また、地域における医療需要から、サテライト化等を含め拠点機能を維持することを検討します。

### ウ）検討案

入広瀬診療所の方向性については、以下の案を検討します。

| No. | 検 討 案       | 概 要                  |
|-----|-------------|----------------------|
| 1   | 大 規 模 改 修   | 設備等の大規模改修工事による耐用年数延伸 |
| 2   | サ テ ラ イ ト 化 | 小出病院のサテライト化          |

### エ）スケジュール等

次年度以降、適切な時期に検討します。

---

## 魚沼市地域医療計画

令和8年3月 策定  
魚沼市市民福祉部健康増進課

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地  
TEL 025-792-1436  
FAX 025-792-9500

---